

2021  
MOPC  
award

奨励賞

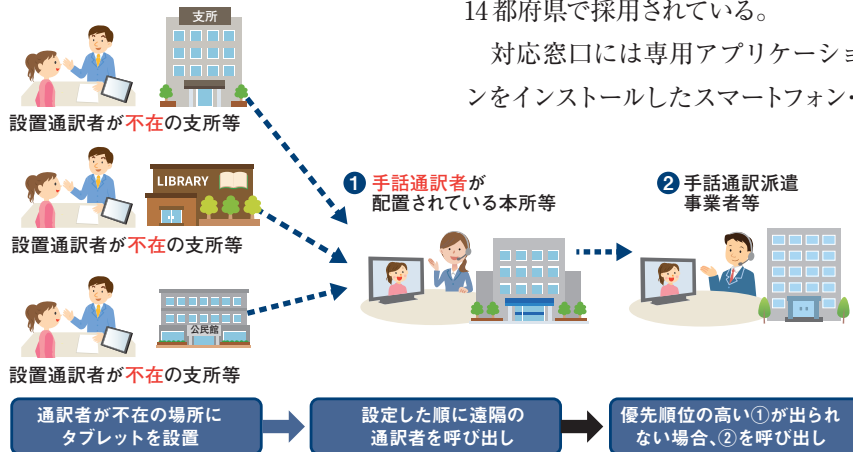
株式会社ビーマップ、株式会社アステム、  
株式会社オサムインビジョンテクノロジー

## 「J-TALK手話通訳」

# 対面でなくても対応できる遠隔手話通訳

本来は対面で行う手話通訳において、遠隔/非接触での対応を可能としたのがビーマップの「J-TALK手話通訳」である。遠隔通訳プラットフォーム

図 「J-TALK手話通訳」の利用イメージ



を利用し、手話通訳の利便性を向上させた。

自治体窓口や公共の場、ホテルなどにおいて、手話通訳人材が不在の場合でもサービスを提供でき、すでに14都府県で採用されている。

対応窓口には専用アプリケーションをインストールしたスマートフォン・

タブレットを設置。

利用者の了解を得て、端末からインターネットを通じてサービスに接続し、あらかじめ設定した優先順位によって、通訳対応可能者を呼び出す。該当者が通訳中で出られない場合は、二番目の通訳者呼び出しに切り替わる仕組みだ。

利用者と通訳者の通話はピアツー・ピアではなく、独自の通信プロトコルでバーチャル会議として接続。複数人数での会議も実現可能であり、音声通話、動画配信に加え、チャット、ホワイトボードなども利用できる。

また個人の端末によるサービス利用も可能である。